

安保破棄ニュース

No. 498
2018. 10. 12

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町一七一三
TEL 06-6763-1383
FAX 06-6763-1386
●Eメール anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp
●ホームページ http://www.anpo-osk.jp

沖縄県知事選挙 玉城デニー氏勝利！！



勝利の方程式を掲げ、自公維総がかりで沖縄県に襲い掛かった官邸丸抱えの相手陣営を凌駕し、過去最多の39万6632票を獲得、8万174票の大差をつけて玉城デニー氏が勝利した今回の沖縄県知事選挙。

その背景には、県民が示し続ける基地建設反対の「民意」を無視して工事を続け、沖縄を愚弄する安倍政権への怒りの爆発がありました。8月31日、沖縄県がついに辺野古新基地建設の埋め立て承認「撤回」を行いました。翌日9月1日に翁長知事の夫人樹子さんのメッセー

ジが新聞報道されて以降、大きな変化が生まれます。翁長知事が命を懸けて貫き通した「平和で誇りある豊かな沖縄を実現するためには、米軍基地はその最大の阻害要因だ。だからこそ、辺野古新基地建設に反対する」という遺志が、そして、「うちなんちゅま

きていーないびらんどー」という翁長知事の呼び掛けが県民を突き動かし、決して諦めないという心が一つとなっ

ていきました。そこに、県民が投票に当たって最も重視した基地問題を一切語らず「争点隠し」をしようとする相手候補に対して、翁長知事の遺志を引き継ぎ、辺野古新基地建設反対を真正面に掲げた玉城デニー候補の訴えが合致し、選挙戦は一

気に熱気を帯びていきました。さらには、多くの国民が自分たちの問題、民主主義を守る闘いとして捉え、「戦争する国」に向けて暴走する安倍



伊江島へも行き、ビラまき、宣伝をしました。

政権との闘いとして連帯できたことが重要です。

大阪安保が支援に入った名護市では、期日前投票が2月の市長選挙時の2万1660票を超えて2万2227票(45・54%)にも達し、大変な危機感を覚えました。いざ蓋を開けてみると、投票率が市長選時76・92%に対して65・92%と10%も下がる中、玉城票は1万6796票(稲嶺票1万6931票)と市長選時とほぼ変わらないの

23 宣伝行動

通算367回目となる「大阪安保23定例宣伝行動」を9月21日に実施しました。

大阪労連、新婦人、共産党、民医連、うたごえ協議会から弁士を出してもらい、それぞれの分野から訴えをしてもらいました。沖縄県知事選挙が闘われている最中での宣伝行動ということで、現地支援に行ってきた経験を交えての訴えなどもあり、「沖縄の問題を訴え

ているとき、ビラの受け取りがよかった」という参加者からの声がありました。

「辺野古新基地建設工事の中止と普天間基地の無条件撤去を求める請願」署名の呼びかけも行い、9筆が集まりました。

今回は、10月23日に行います。多数の参加をよろしくお願いします。



して、相手候補が獲得した票は現市長が得た2万389票から大きく減らして1万5013票にしか届いておらず、実に5千票余りを跳ね返して1783票の差をつけての勝利となりました。全県的には、地元紙の出口調査で明らかとなったように、安倍政権の基地問題に対する姿勢を、6割の県民が「評価しない」と答えており、当落を大きく左右すると言われる無党派層の7割が玉城氏に投票し、自民党支持層の2割以上、公明党支持層の3割近く、維新支持層の半数以上が玉城氏に投票しました。今や「勝利の方程式」は沖縄では絶対ではないということが言えます。支援に入った私たちが励まされ、大きな確信となった沖縄県知事選挙。今度、私たち自身が地元でがんばる番です。

詳しい分析としては、まだまだお伝えしなければならぬことがあります。先ずは、沖縄県民の皆さんの誇りある選択に敬意と共に感謝の意を表するものです。

2018年10月1日
安保破棄諸要求貫徹大阪実行委員会
事務局長 守山禎三

当面の予定

10月

- 14日(日)大阪憲法会議・「秋の憲法大学習会」
(14:00～大阪市立中央区民センター)
- 21日(日)那覇市長選挙投票
自衛隊八尾駐屯地一般公開行事
- 23日(火)大阪安保23定例宣伝(12:00～淀屋橋)
- 26日(金)「沖縄県知事選挙勝利報告集会」 in おおさか
(18:00～国労会館)
- 27日(土)「横田へのオスプレイ配備反対10・27集会」
- 30日(月)「辺野古新基地建設工事の中止と
普天間基地の無条件撤去を求める請願」署名
国会提出行動(13:30～衆議院第1議員会館)

11月

- 3日(土・祝)「輝け憲法!ともに生きる社会を!」
11・3 おおさか総がかり集会
(13:30～扇町公園)
- 4日(日)「米軍基地はいらんちゃフェスタ2018」
(13:00～丹後文化会館、※11:00～現地視察会)
- 7日(水)大阪安保常任幹事会(10:00～大阪安保)
- 22日(木)大阪安保23定例宣伝(12:00～淀屋橋)

12月

- 5日(水)大阪安保常任幹事会(10:00～大阪安保)
- 12日(水)近畿安保・合同会議(15:00～大阪安保)
- 21日(金)大阪安保23定例宣伝(12:00～淀屋橋)

日本のどこにも 米軍基地はいらない

京都「米軍レーダー基地問題報告会」 &現地ウォッチング



つて消防本部が出したレーダー停波要請を米軍が拒否したことです。そのため、負傷者の搬送が17分遅れました。今回は命にかかわることにはなりませんでしたが、一刻を争う事態であったなら、取り返しのつかないことになることは確実です。

また、基地の2期工事が行われており、住民への周知や、約束違反の土曜日工事実施、米軍敷地を越えての掘削工事など問題は増えるばかりです。

多発する交通事故、住民無視、日本の法律無視が横行する背景には、日米地位協定があります。全国知事会が7月に全会一致で日米地位協定の見直しを日米両政府に求めていくことを採択し、8月に提言を提出しました。今、全国からこの問題に取り組んで大きく広げていくことが必要であると、京都の現状からも明らかです。

11月4日(日)には、毎年開催されている「米軍基地はいらんちゃ! フェスタ」が、丹後文化会館で開催されます。その午前中には、米軍レーダー基地現地視察会も行われます。是非ご参加ください。

現在、日本国内には、128か所の米軍基地があります。京都の京丹後市・経ヶ岬に、近畿唯一の米軍基地が立地され4年。問題は増すばかりです。9月9日に、米軍基地いらない京都府民の会主催で、現地ウォッチング&基地問題報告集会「経ヶ岬米軍レーダー基地の今」のバスツアーが実施されました。

バスに乗り現地へ行くまでに、米兵、軍属の起こした交通事故現場がいたるところにあることが示されました。この日は大雨警報も現地で出されている状況であったため、十分な基地視察はできませんでしたが、美しい自然を壊して、今も拡張の工事が進められている現場を見ることが出来ました。

峯山総合福祉センターで午後から開催された「米軍基地問題報告会」は、国会議員、府会議員、市会議員、現地運動団体事務局長などからの報告があり、中身満載の集会でした。約130人が参加しました。

この間、大きな問題となっているのが、ドクターヘリの運行に伴



11:00～11:30 現地視察会
(駐車場所がありません、渋滞のおそれもあることから、乗り合わせてご参加ください)

12:00～13:00 丹後文化会館・開場

13:00～14:40 開会
オープニング:うたごえ

現地や国会・各議会、諸団体、沖縄からの報告

14:40～15:20 川口真由美さんトーク&ライブ

集会後、パレード